

### I 事業報告 総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症により、海外への渡航制限やリアルな活動の制約を受けたものの、順次経済活動は従来の姿となり、会員各位のご協力や情報機器の活用により、年間を通じて当初計画に基づいた事業運営が行えた。あわせて、大分県にて設置された「ものづくり未来会議おおいた」の企業会メンバとしての活動もおこなった。

事業運営にあたっては企画委員会が中心となって事業計画を策定し、イノベーション・マーケティング・ネットワークの3つの専門部会が主体的に各事業に取り組んだ。

主な事業は次のとおりである。

- 研究開発事業では、ニッチトップ・ニューマーケット推進事業として公募。これまで培ってきた自社の強みを活かし、自社にとっての新分野への事業展開や、自社の強みを更に高めるための製品競争力の強化を目的とした開発事業に対して、支援を実施した。
- 人材育成事業では、継続開催している半導体基礎講座を技術基盤として実施した。また、新分野・成長分野参入に直結した技術力を習得できるよう、首都圏開催の系統的な技術研修会を大分にて開催、当会員の技術力の向上をはかった。リスクリングとして、企画力を高めるために事業創出セミナーを開催した。
- 販路開拓・情報提供事業では、セミコンジャパン・アジア最大級展示博覧会であるネプコンジャパンに出展し、当会員の紹介及び当会PRを行った。また、台湾企業との商談会は新型コロナウイルス感染症のため、熊本県と連携し、春・秋の2回オンラインで開催した。
- 会員交流事業では、トップセミナーを開催し、経営へ寄与すると共に会員相互の交流によるネットワークの強化を図った。会員交流会は交流活性化させることを目的に、コミュニケーション力向上セミナーを開催した。
- 総会にあわせてフォーラムを開催し、センサー業界トップ企業の目指す姿や、今後の半導体業界の動向についてのご講演により、会員の知見を深めることができた。
- 平成30年度発行した、『災害時における相互協力に関する合意書』については、合意書会員登録がさらに増加し26社となり、BCM活動の更なる定着がはかれた。  
(初版17社)

### II 事業報告

#### 1. 理事会・専門部会等の開催

「おおいたLSIクラスター中期ビジョン」の実現に向けた事業計画等を協議し推進するため、理事会、企画委員会と、イノベーション・マーケティング・ネットワークの3つの専門部会及びニッチトップ・ニューマーケット推進事業の審査会を開催した。

## (1) 理事会

### ①第1回理事会

日 時：令和4年5月24日(火) 15:00～16:00

場 所：大分県産業科学技術センター 多目的ホール

議 題：・副会長の選任について  
・令和3年度事業報告  
・令和3年度収支決算報告  
・令和4年度事業計画 ほか

### ②第2回理事会

日 時：令和5年3月15日(水) 10:00～11:10

場 所：大分県産業科学技術センター 多目的ホール

議 題：・令和4年度収支予算の補正  
・令和5年度事業計画及び収支予算  
・令和4年度事業進捗状況報告 ほか

## (2) 企画委員会

### ①第1回企画委員会

日 時：令和4年4月26日(火) 16:00～17:20

場 所：大分県庁舎 本館 12会議室

### ②第2回企画委員会

日 時：令和4年6月20日(月) 15:00～17:00

場 所：大分県庁舎 本館 防災活動支援室1

### ③第3回企画委員会

日 時：令和4年8月9日(火) 16:00～17:30

場 所：大分県庁舎 本館 71会議室

### ④第4回企画委員会

日 時：令和4年10月25日(火) 16:00～17:30

場 所：オンライン

### ⑤第5回企画委員会

日 時：令和4年12月20日(火) 15:30～17:00

場 所：大分県庁舎 本館 71会議室

### ⑥第6回企画委員会

日 時：令和5年3月1日(水) 15:00～17:10

場 所：大分県庁舎 新館 B22会議室

## (3) 専門部会

### [イノベーション部会]

①日 時：令和4年5月26日(木) 10:00～11:00

場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室

②日 時：令和4年10月13日(木) 15:00～16:00

場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室

③日 時：令和5年2月10日(木) 15:00～16:30

場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室

### [マーケティング部会]

①日 時：令和4年5月25日(水) 13:30～14:40

場 所：オンライン

②日 時：令和4年10月14日(火) 13:30～14:35

場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室

③日 時：令和5年2月27日(月) 15:00～16:05

場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室

### [ネットワーク部会]

- ①日 時：平成4年5月20日(金) 10:00～11:10  
場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室
- ②日 時：令和4年10月5日(金) 13:30～14:30  
場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室
- ③日 時：令和5年2月7日(火) 10:00～11:05  
場 所：大分県産業科学技術センター 第1研修室

### (4) ニッチトップ・ニューマーケット推進事業審査会

- ①日 時：令和4年5月30日(月) 13:00～17:30  
場 所：(発表者) 大分県産業科学技術センター 201会議室  
(審査員) オンライン
- ②日 時：令和4年7月14日(木) 13:30～  
場 所：(発表者) 大分県産業科学技術センター 201会議室  
(審査員) オンライン

## 2. 総会・フォーラムの開催

- 日 時：令和4年7月1日(金) <講演会>14:00～17:10  
場 所：レンブラントホテル大分  
参加者：134名(60団体)  
内 容：①主催者挨拶 大分県知事 広瀬 勝貞  
大分県L S I クラスター形成推進会議 会長 川越 洋規  
②来賓紹介及び挨拶  
九州経済産業局 地域経済部長 柴谷 昌宏 氏  
③「おおいたL S I クラスター」事業報告  
大分県L S I クラスター形成推進会議 企画委員長  
大分県L S I クラスター形成推進会議 各専門部会長  
④基調講演  
『ソニーのイメージセンサーが拓く未来とものづくり』  
講師 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社  
代表取締役社長 山口 宜洋 氏  
⑤特別講演  
『潮目が変わったエレクトロニクス消費  
～シリコンサイクルは続いている』  
講師 インフォマインテリジェンス合同会社  
シニア コンサルティング ディレクター 南川 明 氏

## 3. 「ものづくり未来会議おおいた」の取組

### (1) 企業会人材確保の要望書提出

「半導体・デジタル産業戦略」公表に伴う、シリコンアイランド九州復活に向けての環境変化を受け、本県の半導体事業の発展に向けて関連企業に従事する人材が確保できるよう、大分県教育委員会 岡本教育長様に要望書を手交した。

- 日 時：令和4年9月26日(月)  
場 所：大分県教育委員会教育長室  
内 容：「県内の半導体関連事業の人材確保に向けて、県立高校における電子科等の半導体事業につながる学科の定員の増を要望します」

## (2) 半導体概論講座設置

大分県、当会会員企業協力のもと、企業技術者などが外部講師として登壇し、半導体のアプリケーションと最新技術を解説。半導体業界と大分県内企業の魅力を伝える講座を次年度以降に新設いただいた。

### ①大分大学

実施時期：令和5年度後期

対 象：理工学部理工学科 355名

### ②大分工業高等専門学校

実施時期：令和5年度前期

対 象：4年生全学科 160名

## 4. イノベーション事業の実施

### (1) ニッチトップ・ニューマーケット推進事業

これまで培ってきた自社の強みをいかし、自社にとって新分野への事業展開（ニューマーケット進出事業）や、自社の強みを更に高めるための製品競争力の強化（ニッチトップ創出事業）を目的とした開発事業に対して補助金を交付した。

成果報告会を開催し、各事業の成果を確認するとともに、より効果的な事業とするためアドバイスを行った。また、過去の採択案件についても適宜サポートを行った。

#### ・ニューマーケット進出事業

①磁気事業の新規立ち上げに伴う計測機器等の試作開発

②CO<sub>2</sub>センサーの電池駆動化

③音声スイッチ用薄膜振動箔の高精度位置決め溶接技術開発

#### ・ニッチトップ創出事業

①窒化ガリウムパワーデバイス搭載高性能パワーモジュール製品開発

### (2) 先端技術力の向上及び中堅社員のスキルアップ

#### 1) 事業創出セミナー

全6回の教育を通じて、人を巻き込みながら各社における新規事業を創出するカリキュラムの提供と実践支援を行った。

##### ・開催日時：

①5月27日(金)、6月24日(金)、7月15日(金) 9:00～16:00

②8月26日(金)、9月30日(金)、10月21日(金) 9:00～16:00

##### ・中間報告・最終報告

各社経営層向けの発表会を開催した。

参加者：7社

#### 2) 技術者研修会

ビジネスチャンス獲得に向け、半導体の最新技術や新たな成長分野をテーマにした技術者研修会（技術者塾）を開催した。

##### ①技術者塾 I

テーマ：確実に成果を出すDXの進め方

日 時：令和4年7月28日(木) 10:00～17:00

方 式：オンライン講座

講 師：日立コンサルティング 理事

グローバル・ビジネスコンサルティング事業部 事業部長 水田 哲郎 氏

参加者：16企業3機関 38名(自動車関連企業会と共催)

## ②技術者塾Ⅱ

テーマ：DX 推進のコアスキル

日 時：令和4年10月25日(火) 9：30～17：00

場 所：大分県産業科学技術センター 多目的ホール

講 師：ナレッジサイン代表取締役 グローバルファシリテーター 吉岡 英幸 氏

参加者：11企業 21名(自動車関連企業会と共催)

## ③技術者塾Ⅲ

テーマ：課題解決のためのデータ分析入門

日 時：令和5年3月6日(月) 10：00～16：00

場 所：大分県産業科学技術センター 多目的ホール

講 師：データ&ストーリーLLC 代表 星野 雄一 氏

参加者：11企業1機関 19名

### <技術者研修会総括>

技術者塾は、対面にてグループ討議を含めて行うべき内容を主として行い、1回はオンラインにて開催した。受講後のアンケート結果でも次のように「やや満足」以上で86.9%の高い評価であった。

①満足 52.5% ②やや満足 34.4%

③どちらでもない 11.5% ④やや不満 1.6% ⑤不満 0%

## 3) 技術セミナー

### ①パワーデバイス基礎講座

テーマ：自動車電動化に向けたパワーデバイス開発の最新状況と今後の動向

日 時：令和4年11月9日(火) 10：00～15：00

場 所：大分県産業科学技術センター 多目的ホール

講 師：筑波大学数理物質系 物理工学域 教授 岩室 憲幸 氏

参加者：20企業2機関 66名(自動車関連企業会と共催)

アンケート結果：やや満足以上 98.4%

### ②アナログ回路の基礎講座

テーマ：デジタルの時代になぜ、アナログ回路講座？

日 時：第1回令和5年2月21日(火) 10：00～17：00

第2回令和5年2月28日(火) 10：00～17：00

場 所：大分県産業科学技術センター 多目的ホール

講 師：株式会社OAD-TEC アナログ設計事業部 米野 文生 氏

参加者：14企業2機関 42名

アンケート結果：やや満足以上 95.2%

## (3) 基礎教育・新人教育の充実

### 1) 半導体基礎講座

会員企業の新任技術者等を対象にした半導体基礎講座を、(株)エリアへの業務委託により実施した(コース3回)。これまで会員協力により工場見学を行っていたが、コロナ対策として受入が難しく座学のみとした。

日 時：令和4年6月16日(木)、23日(木)、30日(木) 13：30～16：30

方 式：オンライン講座(大分県産業科学技術センター C201号室配信)

講 師：16日 大分大学理工学部電気電子コース 准教授 大森 雅登 氏

23日・30日 半導体人材育成教育コンサルタント 筒井 信明 氏

受講者：16日-20社1機関 104名、23日-21社1機関 102名

30日-19社1機関 93名

2) 人材養成補助金

会員企業の事業計画に沿った専門人材の育成を目的に通信講座を活用する企業に授業料の補助を行った。

結果：4社 7名

(4) 「学」との連携・広域連携

1) 学生による会員企業見学会

大分高専との連携の一環として、高専生の県内会員企業見学会を実施。会員企業（中小企業）の活動を知ってもらい、大分県内のものづくり企業に対する理解を深めてもらうことを目的として開催した。

日程：令和5年1月18日(水)

概要：県内会員企業2社訪問

企業概要・事業展開の説明、職場見学、OBとの交流

参加者：大分高専 学生40名、教諭1名

2) 大分高専テクノフォーラム入会、参加

「ものづくり未来会議おおいた」での活動に従い、大分高専テクノフォーラム「先端研究発表会&ラボツアー」に当会として参加した。

日程：令和5年1月18日(水)

参加者：26社 91名（内 会員8社3機関）

3) 半導体シーズニーズマッチングラボ in 大分大学

「ものづくり未来会議おおいた」での活動に従い、大分大学様のご協力を得て、大分大学シーズを紹介いただき、会員企業との産学連携マッチングの場を開催した。

日時：令和4年9月22日(木) 14:00～17:00

概要：大分大学講演

大分県LSIクラスター形成推進会議講演

パネル展示、名刺交換会、個別意見交換会

参加者：9企業4機関 41名

4) 大学・高専連携推進補助事業

産学連携強化を目的に大分大学・大分高専との卒論テーマ・教職員共同テーマを会員企業課題として、共同研究を実施、その研究費の補助を行った。

■大分大学

①医療機器のアラーム音検知の研究

■大分高専

①高耐圧パワーモジュールのパッケージ設計

②MATLAB活用による $\Delta\Sigma$ ADC設計の高精度化検討

5. マーケティング事業の実施

(1) 海外ビジネス交流事業

今年度は、海外渡航も困難であり、台湾・中国とのリアルな相互交流は断念した。

台湾交流として、熊本県工業連合会、九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会と連携してオンラインでの商談会を開催した。

当会・熊本県工業連合会・台湾電子設備協会、3団体主催にて、大分県・熊本県・台北の3会場でオンライン商談会を開催した。

①台湾との交流－1

商談会（大分会場）

開催日：令和4年4月19日(火)

場 所：レンブラントホテル大分 二豊の間

参加企業：大分LSI 7社参加（内1社は台北会場にて参加）SIIQ1社

大分 計24商談

熊本会場 7社参加

台北会場 21社参加

②台湾との交流－2

商談会（大分会場）

開催日：令和4年10月20日(木)

場 所：レンブラントホテル大分 二豊の間

参加企業：大分LSI 6社参加（内1社は台北会場にて参加）

大分医療IT 1機関1社、SIIQ会員1社

大分 計27商談

熊本会場 8社参加

台北会場 21社参加

(2) 展示会への出展

①セミコンジャパン2022

半導体関連国際展示会である「セミコンジャパン2022」に、熊本県・長崎県と合同で九州パビリオンとして出展した。九州パビリオンの中で会員企業2社と「クラスターブース」を形成して「おおいたLSIクラスター」の会員企業の新技術・新製品等の情報を発信した。あわせて企業立地課ブースを設け、大分県企業誘致を推進した。

開催日：令和4年12月14日(水)～16日(金)

場 所：東京ビッグサイト 東ホール

出展小間数：17小間（当会6小間）

出展内容：クラスターブースを会員9社がパネル・サンプル展示で活用。

ブース来場者：クラスターパンフレット、会員パンフレット 各配布

539名、37商談

②第37回ネプコンジャパン

エレクトロニクス開発・製造・検査に関するアジア最大級の専門展である「ネプコンジャパン」に出展した。今年度は会員企業1社と合同で九州パビリオンとして出展、当会活動状況を紹介した。

開催日：令和5年1月25日(水)～27日(金)

場 所：東京ビッグサイト 東ホール

出展小間数：3小間（当会2.5小間）

出展内容：クラスターブースを会員9社がパネル・サンプル展示で活用。

ブース来場者：クラスターパンフレット、会員パンフレット 各配布

216名、33商談

(3) 大分県LSIクラスター販路拡大支援（大規模展示会出展事業）

新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外問わず大型展示会や移動制限のため、県内半導体関連産業の販路開拓に支障が生じている。会員企業のビジネスチャンス拡大を図る為、当会出展の展示会について以下の補助を行った。

①展示会出展支援補助金【上限20万円】

目 的：セミコンジャパンまたはネプコンジャパン開催時に独自ブースで出展参加する会員を支援することで会員企業の販路開拓を推進する。

採 択：4社

②展示会人員派遣支援補助金【上限10万円】

目的:セミコンジャパンまたはネプコンジャパン開催時に大分県LSIクラスターブ  
ース内出展参加する会員を支援することで会員企業の販路開拓を推進する。

採 択:6社、延べ11件

(4) 大手センサーメーカーへのビジネスチャンス拡大

センサーメーカー開催のニーズ説明会に参加し、新たなビジネス参入を図った。

日 時:令和4年10月27日(木)

場 所:グランメッセ熊本 1階展示ホールB

参加者:6社

(5) いわて半導体関連産業促進協議会との交流

同協議会の会員企業を視察し、更なる交流を図った。

日 時:令和5年2月14日(火)~15日(水)

訪問先:2社

参加者:24名(10社、2機関)

## 6. ネットワーク事業の実施

(1) トップセミナー

会員企業の経営責任者等を対象として、さらなる資質の向上とネットワークの拡大を  
図ることを目的にトップセミナーを開催した。

①日 時:令和4年6月8日(水)14:00~15:30

場 所:レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

※ハイブリッド開催

演 題:「これからの日本経済 ー地域と企業から生まれる経済成長」

講 師:明治大学 政治経済学部 教授 飯田 泰之 氏

参加者:82名(会場34名、Web聴講48名)

②日 時:令和4年12月22日(木)15:00~16:30

方 式:オンライン

演 題:「半導体・デジタル産業戦略をめぐる日米協調のあり方」

講 師:株式会社日本政策投資銀行 産業調査部

(一財)機械振興協会 経済研究所 首席研究員 井上 弘基 氏

参加者:54名

③日 時:令和5年1月19日(木)13:30~15:00

方 式:オンライン

演 題:「九州地域のカーボンニュートラル推進に向けて」

※エネルギー産業企業会共催

講 師:九州経済産業局 資源エネルギー環境部

資源エネルギー環境課 課長補佐

カーボンニュートラル推進・エネルギー広報室長補佐 樋口 一郎 氏

参加者:57名(LSIクラスター34名、エネルギー産業企業会23名)

<トップセミナー総括>

コロナ対策において、オンラインおよびハイブリッド開催となった。

結果、合計193名の参加があり、受講後のアンケート結果でも、次のように「やや満  
足」以上で94.7%の高い評価となった。

次年度の講演も会員要望をふまえて開催していく。

①満足 51.8% ②やや満足 42.9% ③やや不満 5.3% ④不満 0%



## (2) 『NEDIA Day 九州おおいた』の協賛

(一社)日本電子デバイス産業協会が開催した大分でのイベント『NEDIA Day 九州おおいた』に協賛し、当会会員が参加。広く半導体業界について知見を深めた。

日 時：令和5年2月24日(金) 12:45～16:30

場 所：大分センチュリーホテル 桜の間

講 演：

- ◎ 「豊かで持続可能な社会を made in Japan の半導体で支える」  
株式会社ジャパンセミコンダクター 取締役社長 川越 洋規 氏
- ◎ 「ソニーイメージセンサー事業の展望と九州への期待」  
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社  
製造センター長 兼 大分テクノロジーセンターTEC長 石谷 盛治 氏
- ◎ 「電子デバイス 100兆円時代を支える先端製造装置(仮題)」  
東京エレクトロン九州株式会社 執行役員 吉原 孝介 氏
- ◎ 「九州シリコンアイランドの大復活が始まった！  
～企業誘致が中小企業を活性化、車載向けにも期待～」  
NEDIA 理事・副会長  
株式会社産業タイムズ社代表取締役会長 泉谷 渉 氏

## (3) 会員間及び産学官のネットワークづくり

### ①会員交流会の開催

日 時：令和5年2月20日(月) 14:00～16:30

場 所：レンブラントホテル大分 2階 久住の間

演 題：『伝わるコミュニケーションは良い印象から！』

講 師：

イメージアップコンサルタント コミュニケーション力アップアドバイザー  
行動心理士 (一般財団法人 日本能力開発推進協会認定)  
スマイルトレーナー® (重太みゆきスマイルプロジェクト)  
フリーアナウンサー 田中 アイ 氏

参加者：42名

### ②おおいたテクノピッチの開催

大分県工業連合会と共催で、県内製造業の将来を担う人材確保につなげるため、県内企業が持つ優れた技術やものづくり産業の魅力を工業系学生に直接アピールする交流イベント「おおいたテクノピッチ」を開催した。

#### 第1回目

日 時：令和4年9月29日(木) 14:30～16:20

個別交流 16:35～17:15

場 所：大分大学

参加企業：12社 (内 当会会員7社)

参加者：大分大学理工学部 創生工学科 機械コース 1年生 他

#### 第2回目

日 時：令和4年10月12日(水) 13:30～15:30

場 所：大分工業高等専門学校

参加企業：12社 (内 当会会員7社)

参加者：機械工学科・電気電子工学科 4年生

#### 第3回目

日 時：令和4年11月16日(水) 14:40～17:05

個別交流 17:10～17:40

場 所：大分県立工科短期大学校

参加企業：21社 (内 当会会員8社)

参加者：大分県立工科短期大学校1年生

機械システム系 27名、建築システム系 13名、  
電気・電子システム系 19名

③おおいた“産”観日の開催

大分県工業連合会と共催で、県内製造業の将来を担う人材確保につなげるため、県内企業が持つ優れた技術やものづくり産業の魅力を工業系学生に直接アピールする会社見学会「おおいた“産”観日」を開催した。

日 時：令和4年11月22日(火) 9：00～17：15

概 要：3コース

参加企業：10社 [機械：3社、建築：4社、電気・電子：3社]  
(内 当会会員4社)

参加者：大分県立工科短期大学校 1年生

機械システム系 25名、建築システム系 12名、  
電気・電子システム系 19名

(4) 『災害時における相互協力に関する合意書』 登録会員拡大

概 要：災害時において会員の相互協力によって製品供給の継続に努め、顧客ひいては社会の発展に貢献できるよう参加会員にて合意した。

発行日：令和4年12月12日 (平成31年2月27日(水)初版)

合意会員：26社

## 第4号議案

### 令和4年度収支決算報告書

自 令和 4年4月 1日

至 令和 5年3月31日

#### 収入の部

(単位:円)

科 目	現計予算額 ①	決算額 ②	増減額 ②-①	備 考
1 負担金収入	44,369,000	44,369,000	0	大分県負担金
2 事業収入	475,000	475,000	0	
3 会費収入	900,000	900,000	0	90社 * 10,000円
4 雑収入	1,000	127	△ 873	預金利息
<b>当期収入合計(A)</b>	<b>45,745,000</b>	<b>45,744,127</b>	<b>△ 873</b>	
前期繰越金	5,895,000	5,895,017	17	
<b>収入総合計(B)</b>	<b>51,640,000</b>	<b>51,639,144</b>	<b>△ 856</b>	

#### 支出の部

(単位:円)

科 目	現計予算額 ①	決算額 ②	増減額 ②-①	備 考
<b>1 理事会・専門部会等開催費</b>	<b>327,000</b>	<b>250,980</b>	<b>△ 76,020</b>	
理事会運営費	98,000	77,031	△ 20,969	2回開催
報酬	42,000	33,200	△ 8,800	
旅費	51,000	39,430	△ 11,570	
食糧費	5,000	4,401	△ 599	
専門部会・審査会等運営費	229,000	173,949	△ 55,051	
報酬	182,000	149,400	△ 32,600	
旅費	31,000	9,025	△ 21,975	
食糧費	16,000	15,524	△ 476	
<b>2 総会・フォーラム開催費</b>	<b>1,600,000</b>	<b>1,598,711</b>	<b>△ 1,289</b>	
総会運営費	1,213,000	1,212,231	△ 769	
食糧費	532,000	531,551	△ 449	
印刷消耗費	207,000	206,800	△ 200	
委託料	55,000	55,000	0	
使用料及び賃借料	419,000	418,880	△ 120	
フォーラム開催費	387,000	386,480	△ 520	
報償費	337,000	336,800	△ 200	
旅費	50,000	49,680	△ 320	
<b>3 イノベーション事業費</b>	<b>18,432,000</b>	<b>17,196,647</b>	<b>△ 1,235,353</b>	
研究開発・調査研究事業費	10,900,000	10,750,972	△ 149,028	
負担金補助及び交付金	10,900,000	10,750,972	△ 149,028	7件
半導体技術者基礎講座費	418,000	417,030	△ 970	
委託料	418,000	417,030	△ 970	
技術者研修会費	1,020,000	805,640	△ 214,360	
報償費	182,000	182,000	0	
印刷消耗費	30,000	23,245	△ 6,755	
通信運搬費	7,000	0	△ 7,000	
委託料	801,000	600,395	△ 200,605	
人材養成費	2,265,000	1,715,041	△ 549,959	
旅費	70,000	9,750	△ 60,250	
印刷消耗費	30,000	28,941	△ 1,059	
通信運搬費	12,000	0	△ 12,000	
委託料	1,564,000	1,354,550	△ 209,450	
使用料及び賃借料	99,000	99,000	0	
負担金補助及び交付金	490,000	222,800	△ 267,200	通信教育等補助7件
新分野・成長分野参入促進費	3,829,000	3,507,964	△ 321,036	
報償費	354,000	353,600	△ 400	
食糧費	27,000	26,500	△ 500	
印刷消耗費	36,000	35,864	△ 136	
委託料	3,392,000	3,092,000	△ 300,000	
使用料及び賃借料	20,000	0	△ 20,000	

科 目	現計予算額 ①	決算額 ②	増減額 ②-①	備 考
<b>4 マーケティング事業費</b>	<b>12,430,000</b>	<b>11,518,896</b>	<b>△ 911,104</b>	
海外ビジネス交流事業費	2,006,000	1,781,780	△ 224,220	
報償費	3,000	2,484	△ 516	
旅費	140,000	137,735	△ 2,265	
食糧費	40,000	39,951	△ 49	
印刷消耗費	481,000	460,900	△ 20,100	
通信運搬費	35,000	34,872	△ 128	
委託料	289,000	288,750	△ 250	
使用料及び賃借料	903,000	702,900	△ 200,100	
負担金補助及び交付金	115,000	114,188	△ 812	
販路開拓調査事業費	719,000	535,320	△ 183,680	
報償費	13,000	12,685	△ 315	
旅費	613,000	430,235	△ 182,765	
使用料及び賃借料	93,000	92,400	△ 600	
展示会出展事業費	8,105,000	7,879,690	△ 225,310	
旅費	510,000	509,460	△ 540	
印刷消耗費	105,000	86,680	△ 18,320	
通信運搬費	613,000	608,300	△ 4,700	
委託料	2,048,000	1,947,242	△ 100,758	
使用料及び賃借料	4,829,000	4,728,008	△ 100,992	
販路開拓・拡大補助事業費	1,600,000	1,322,106	△ 277,894	
負担金補助及び交付金	1,600,000	1,322,106	△ 277,894	15件
<b>5 ネットワーク事業費</b>	<b>2,123,000</b>	<b>1,631,405</b>	<b>△ 491,595</b>	
トップセミナー費	1,384,000	1,043,445	△ 340,555	
報償費	148,000	148,000	0	
旅費	95,000	94,650	△ 350	
食糧費	5,000	5,000	0	
印刷消耗費	20,000	0	△ 20,000	
通信運搬費	10,000	0	△ 10,000	
委託料	695,000	495,000	△ 200,000	
使用料及び賃借料	411,000	300,795	△ 110,205	
産学・地域間交流事業費	358,000	327,260	△ 30,740	
報償費	112,000	112,000	0	
食糧費	21,000	20,400	△ 600	
印刷消耗費	30,000	0	△ 30,000	
使用料及び賃借料	195,000	194,860	△ 140	
会員交流会費	381,000	260,700	△ 120,300	
報償費	66,000	66,000	0	
印刷消耗費	20,000	0	△ 20,000	
使用料及び賃借料	295,000	194,700	△ 100,300	
<b>6 事務局経費</b>	<b>16,728,000</b>	<b>15,913,094</b>	<b>△ 814,906</b>	
LSIクラスターアドバイザー費	0	0	0	
事務局長経費	5,942,000	5,688,417	△ 253,583	
負担金補助及び交付金	5,942,000	5,688,417	△ 253,583	
コーディネーター経費	6,611,000	6,271,803	△ 339,197	
報償費	1,611,000	1,523,600	△ 87,400	
負担金補助及び交付金	5,000,000	4,748,203	△ 251,797	
情報提供費	495,000	486,420	△ 8,580	
印刷消耗費	245,000	244,420	△ 580	
委託料	250,000	242,000	△ 8,000	
事務局運営費	3,680,000	3,466,454	△ 213,546	
旅費	142,000	113,767	△ 28,233	
印刷消耗費	603,000	596,433	△ 6,567	
燃料費及び光熱水費	44,000	39,381	△ 4,619	
通信運搬費	190,000	176,940	△ 13,060	
手数料	846,000	761,213	△ 84,787	
委託料	588,000	588,000	0	
使用料及び賃借料	838,000	815,676	△ 22,324	
負担金補助及び交付金	429,000	375,044	△ 53,956	
<b>当期支出合計(C)</b>	<b>51,640,000</b>	<b>48,109,733</b>	<b>△ 3,530,267</b>	
<b>当期支出差額(B)-(C)</b>	<b>0</b>	<b>3,529,411</b>	<b>3,529,411</b>	